

坊津町歴史館建設安全祈願祭

工事の安全を祈る

坊津町歴史館建設工事の安全祈願祭が11日、川辺郡坊津町の現地で開かれ、川原秀男県議会副議長をはじめ、工事関係者ら約70人が出席して、工事の安全と完成までの無事を祈念した。

地鎮の儀では、谷上幸男町長が鎌入れの儀、石井博美町議会議員が鎌入れの儀、設計・監理の(株)東条設計の東條正博代表取締役、施工者を代表して大成建設(株)九州支店の久間忠勝支店長が力強く、鎌入れの儀を行った後、谷上町長らが次々と神前に玉串を捧げた。

坊津町歴史館建設は、経年で雨漏りが発生するなど、老朽化が著しい事などから、新たに職員駐車場として使用されている敷地に建設するもので、



力強く鎌入れの儀を行う谷上町長＝坊津町の現地で



盛大に行われた竣工披露宴
＝鹿児島市甲突町の現地で

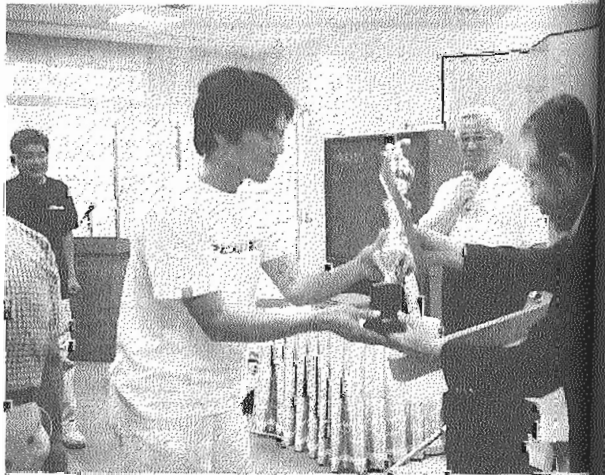
規模はRC造2階建1685・51平方メートル。建物は15年9月30日までの工期で、オープンには16年3月末を目指す。神事の後、引き続き現地で

地で行われた直会では、施主を代表して谷上町長が「工事の無事と安全を祈念します」と挨拶。続いて、川原副議長の一斉乾杯。出席者は、歓談しながら工事の無事が安全に進むことを祈念した。

この日は、会員や家族ら37チーム、147人が参加。競技方法は1人2ゲームとし、4人1組の合計得点で争われた。ゲーム中は日頃の實力を発

県造園建設業協会

横瀬造園土木Aが優勝



親睦を深めたボウリング大会
＝鹿児島市のベイサイドガーデン国際ボウリング場

揮して、ストライクやスベアを連発する人や、ガーターや珍プレーなど場内を和ます人で、終始和気あいまの雰囲気の中、親睦を深めた。

また、大会後は労働安全講習会も開かれたほか、食事会での表彰式では準備された多くの賞品を手に入賞者は大喜びだった。

主な成績は次の通り。
【団体の部】優勝(有)横瀬造園土木A▽準優勝(有)鹿児島県みあい開発(株)▽3位(有)金丸造園土木【個人の部・男子】優

勝(有)東郷広道▽準優勝(有)中島朗(九州緑地開発(株))▽3位(有)横瀬博文(有)横瀬造園土木【同・女子】優勝(有)和田洋子▽準優勝(有)山下愛子(有)川崎緑化センター)▽3位(有)尾方みどり(有)長島植物園

高品質で施工も簡単

(株)財部建材店(財部正司社長、本社・鹿児島市)はこのほど、日本化成(株)(本社・東京都)が開発した「健康左官仕上げ材」各種の取り扱いを開始、取り引き業者から省施工品質に優れているとの好評を博している。

同商品は、耐候、防藻、防カビ性、柔軟性などに優れ、高品質で施工も簡単にできるほか、カラーの種類も豊富で特注色のオーダーもできるため、美しい建物や空間づくりをバックアップする。

それ以外の主な特長は①NS土壁パウダー吸放湿性・結露防止効果を発揮②NSシールド効果を持つ③NSケイソードを施工したC社



NSケイソードを施工したC社

お手軽で便利な購読料のお支払いには自動振替で鹿児島建設新聞099-227-5100へ

平安祭典 鹿児島会館竣工披露宴

完成を盛大に祝う

鹿児島平安閣

平安閣グループ鹿児島平安閣(上田勝久社長)は16日、鹿児島市甲突町の現地で「平安祭典 鹿児島会館」の竣工披露宴を開き、関係者多数が出席して、平安閣グループ17番目の総合葬祭式場の完成を盛大に祝った。

竣工披露宴では、初めに上田社長が「当会館はこれまでの会館のノウハウを集結して設計された。あらゆる面で心を込めてお手伝いさせていただきます」と挨拶した。その後、「鹿児島市愛の福祉基金」として鹿児島市に寄付金を贈呈。続いて建設に携わった(株)フジタ

九州支店、大旗連合建築設計(株)(広島県)に感謝状が授与された。

同会館の建物規模はS造3階建5987平方メートル。施設内容は通夜・葬祭式場3式場、偲ぶの間3部屋、安置室3部屋、寺院控室3部屋、親族控室3部屋、法事会場4会場、多目的和室4部屋などを設けているほか、1500台収容の大駐車場を完備している。

同工法は、小崩壊が発生する法面や安定勾配を確保できない法面の崩壊を抑制することを目的に、地山と補強材をグラウトで一体化、地山強度を向上させ、法面を安定化させる工法である。



L-L補強土工法概念図

強度向上、法面安定化

日本地下技術

(株)日本地下技術(原口宗夫社長・L-L補強土工研究会会長、本社・鹿児島市)はこのほど、深さ3メートル以内の崩壊や老朽化した吹付モルタルの補修、樹木を活かした法面の安定化に適用した超耐久性工法「L-L補強土工法」を開発した。

筋をエポキシ樹脂で塗装し、地上部のコンクリートには高耐久性の中性化防止処理を行い、金網型枠はステンレス製とすることで300年程度の超耐久性を期待。法枠を簡素化しているが、機能低下はわずかで従来工法と同等の抑止効果があり、風化岩盤に標準的な施工を行った場合、1・2割程度のコスト低減もできる。また、構造物を地表から全く見えなくするこ

とで、自然の景観保全にもつながる工法として既に発注の段階まできている。問い合わせは、(株)日本地下技術(099・218・0020)三田氏まで。

なお、L-L補強土工法研究会会員は次の通り。
(株)日本地下技術 日特建設(株) ライト工業(株) (株)カーネギー産業 (株)三竹工業 林建設(株) (株)水戸グリーンサービス

試験施行4カ月後の状況―厚層基材施工箇所のみが緑である(右) 試験施工10カ月後の状況―従来の植物の根や株を残して施工したため、植生の回復が早く遠目には補強跡が分からない